

社会資本総合整備計画 事後評価書 (案)

資料3-6

計画の名称	国家的関連事業の開催に対応した都市公園の整備			
計画の期間	平成29年度 ~ 平成31年度 (3年間)	交付対象	神戸市	
計画の目標				

ラグビーワールドカップ2019における試合開催会場にふさわしい施設とするとともに今後のレガシーにするためスタジアムの整備を進める。
 ※上位計画における位置づけ：「神戸のみどりの基本計画」第7章 施策の展開 2. まちのゾーン 方針2-⑥シンボルとなる公園の魅力向上

計画の成果目標 (定量的指標)	(ラグビーワールドカップ時の目標) ・ラグビーワールドカップ開催時の1試合あたりの平均観客数20,000人以上を目指す。 ※Jリーグの平均観客数14,000人 (H27) (ラグビーワールドカップ後の目標) ・ラグビーワールドカップ開催の次年度において、スポーツゲーム日数を10%増加させる。			
-----------------	---	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H32末)							
① ラグビーワールドカップ開催時の1試合あたりの平均観客数20,000人以上	-	1試合平均 20,000人以上	-							
② (スポーツゲームの開催日数増加率) = (H32年度のスポーツゲーム日数) / (整備前のスポーツゲーム日数)	0% (42日)	-	10% (46日以上)							
全体事業費	合計 (A+B+C)	1671百万円	A	1671百万円	B	-	C	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
令和2年度 神戸市建設事業外部評価委員会	2020/ /
	公表の方法
	神戸市ホームページに記載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H27	H28	H29	H30	H31			
A-1	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	都市公園事業	御崎公園 ラグビーワールドカップ関連整備	神戸市						1,671	H28は別計画により執行	
小計											1,671					
B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
小計																
C 効果促進事業 (該当なし)																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
小計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		(整備前) これまで、スタジアムの構造による日照不足や通風不足のため、芝生の生育状態が悪く、病気や試合後の傷みが頻繁に発生し良好なピッチ状態を長期間保つことができていなかった。また、施設全体も老朽化し、照明施設等について国際基準を満たしていないとRWC2019組織委員会から指摘を受けていた。			
		(整備後) 今回の整備により新技術であるハイブリッド芝や地温コントロールシステムを導入することで、プレー環境が向上し、短期間での複数試合が可能となるとともに、迫力ある試合ができるようになった。また照明施設や音響施設等を更新することで国際基準を満たした施設環境へと改善できた。これによりRWCを無事開催することができ、多くの観客を動員できたことに加えて、以後も良好なピッチ状態を保ち続けることができ、スタジアムの稼働日数が増加した。			
II 定量的指標の達成状況	指標①： ラグビーワールドカップ開催時の1試合あたりの平均観客数	最終目標値	20,000人	目標値と実績値に差が出た要因	・目標を達成した
		最終実績値	27,400人		
	指標②： ラグビーワールドカップ開催の次年度におけるスポーツゲーム日数	最終目標値	46日	目標値と実績値に差が出た要因	・目標を達成した
		最終実績値	65日 ※R2当初予定		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・再整備の結果、プレーした選手から「やりやすかった。芝がめくれることもなかったし、しっかり根付いていた。」「芝の状態もよく、スタジアムの増改築も嬉しい。良い意味で期待を裏切るほどよかった。」などの評価を受けた。 ・Jリーグによる芝生ピッチ評価の年間平均は、H29年は9.34点（10点満点中）であったが、R1年には平均9.83点と高評価を受けた。 ・また、Jリーグスタジアムの評価順位もH29年の48位からR1年は17位と大幅に順位を上げた。 ・観戦環境等の向上により、RWC以後もノエビアスタジアムにおけるラグビー及びJリーグの観客者数が大きく増加した。 			

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・今回の御崎公園の整備によって、ラグビーワールドカップ2019やJリーグ等の良質なプレー環境が提供できた。
- ・今後もレガシーとして適切な維持管理を行うことで、スポーツゲームだけでなく各種のイベントなど様々な場面での活用も視野に、より多くの人に親しまれるスタジアムを目指す。

社会資本総合整備計画

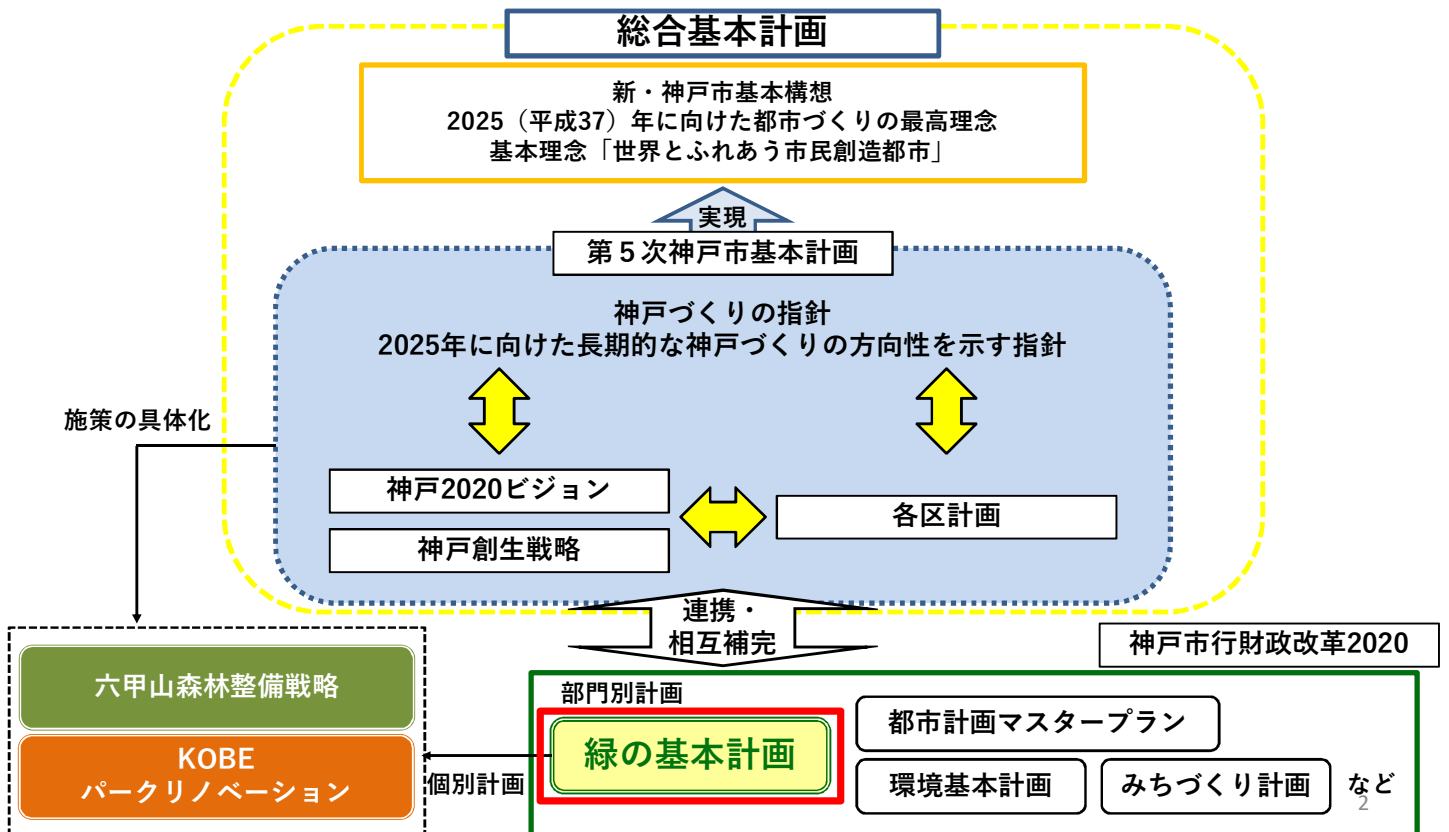
神戸市建設事業外部評価委員会 第一回説明会

〔 国家的関連事業の開催に対応した都市公園の整備 〕

担当：建設局公園部計画課

はじめに

緑の基本計画について



はじめに

緑の基本計画について

緑の基本計画の構成

緑の基本計画の基本理念



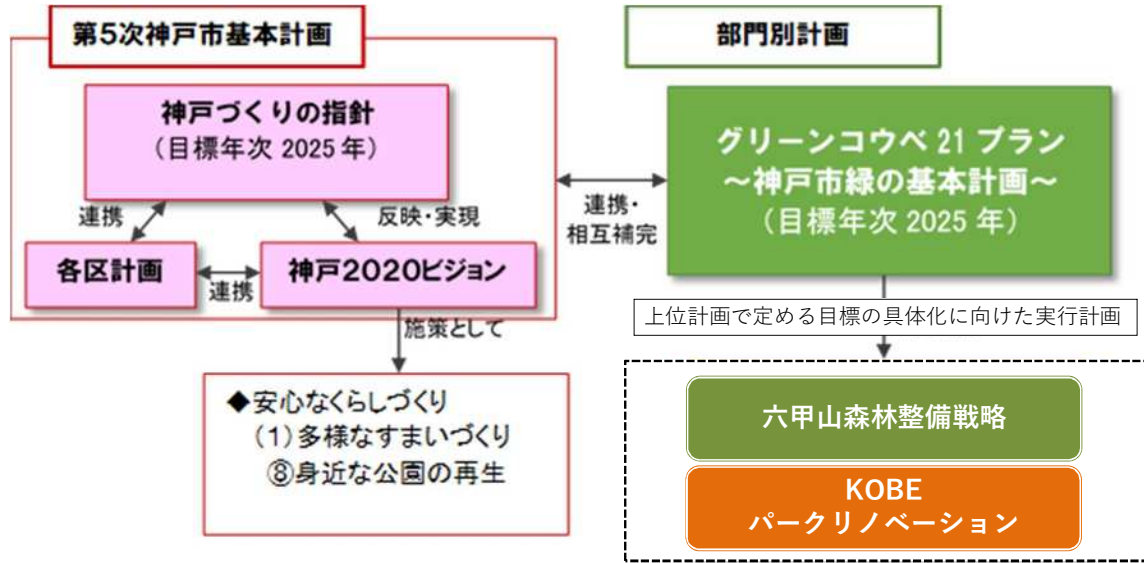
○地域ごとの緑の特徴から神戸市を3つにゾーニングし、各ゾーンの特徴を生かした施策を展開

○3つのゾーンを有機的につなげることで、豊かな水と緑に包みこまれたまちをめざす。



はじめに

緑の基本計画について



六甲山森林整備戦略

⇒ 森林整備の実施に向けた基本的な考え方

- ①戦略的ゾーニングによる森林整備の推進
- ②多様な主体との協働による森林の育成・活用

など

KOBEパークリノベーション

⇒ 施策を力強く推進するモデル事業

- ①にぎわいのある公園づくり
- ②ストックを活用した公園づくり
- ③市民が主役の公園づくり

など

施策の展開と具体的な取り組み

対応する整備計画

みどりのゾーン

六甲山系や帝釈・丹生山系などの緑を保全・育成・活用し、市民のくらしや自然環境・美しい景観を守ります。

- 取り組み(1) 森林レクリエーション施設の充実
- 取り組み(2) みどりの聖域づくり
- 取り組み(3) 自然災害から人とまちを守る森づくり 等

まちのゾーン

魅力と活気あるまちづくりを進めるとともに、震災の教訓を活かした安全で快適なまちづくりを目指します。

- 取り組み(1) 時代のニーズに対応した公園施設等のリニューアルと適切な保全
- 取り組み(2) シンボルとなる公園の魅力向上
- 取り組み(3) 公園等の安全性の向上とバリアフリー化 等

田園のゾーン

農地・里山等における生物多様性に配慮した自然環境の保全・育成や、農村地域のコミュニティの活性化を図ります。

- 取り組み(1) 生物多様性シンボル拠点整備の推進
- 取り組み(2) 田園地域のコミュニティ拠点の整備促進 等

社会資本整備総合交付金

- 1 国家的関連事業の開催に対応した都市公園の整備
- 2 地域ニーズに即した都市公園ストックの再編
- 3 安全・安心や環境に配慮した公園整備等の推進

防災安全交付金

- 4 安全・安心で快適な公園づくり（防災・安全）Ⅱ
- 5 長寿命化計画に基づく公園施設の改築・更新（防災・安全）
- 6 防災・安全に資する公園整備の推進

5

1. 整備計画の内容

国家的関連事業の開催に対応した都市公園の整備

○計画の名称

社会資本総合整備計画

「国家的関連事業の開催に対応した都市公園の整備」

○計画の期間

平成29年度～平成31年度（3年間）

○交付対象

神戸市

1. 整備計画の内容

国家的関連事業の開催に対応した都市公園の整備

○計画の目標

ラグビーワールドカップ2019の試合開催会場として選定された御崎公園について、開催会場にふさわしい施設とするとともに、今後のレガシーにするためスタジアムの整備を進める。

○計画の成果目標（定量的指標）

- ①ラグビーワールドカップ開催時の1試合当たりの平均観客数20,000人以上

※【参考】H28時点 ラグビー1試合あたり平均観客数

ラグビートップリーグ（ノエスタ）…8,288人、ラグビー日本代表（全国）…17,410人

- ②ラグビーワールドカップ開催の次年度における、スポーツゲーム日数の10%増加
(42日（H29当初）⇒46日以上（H32末）)

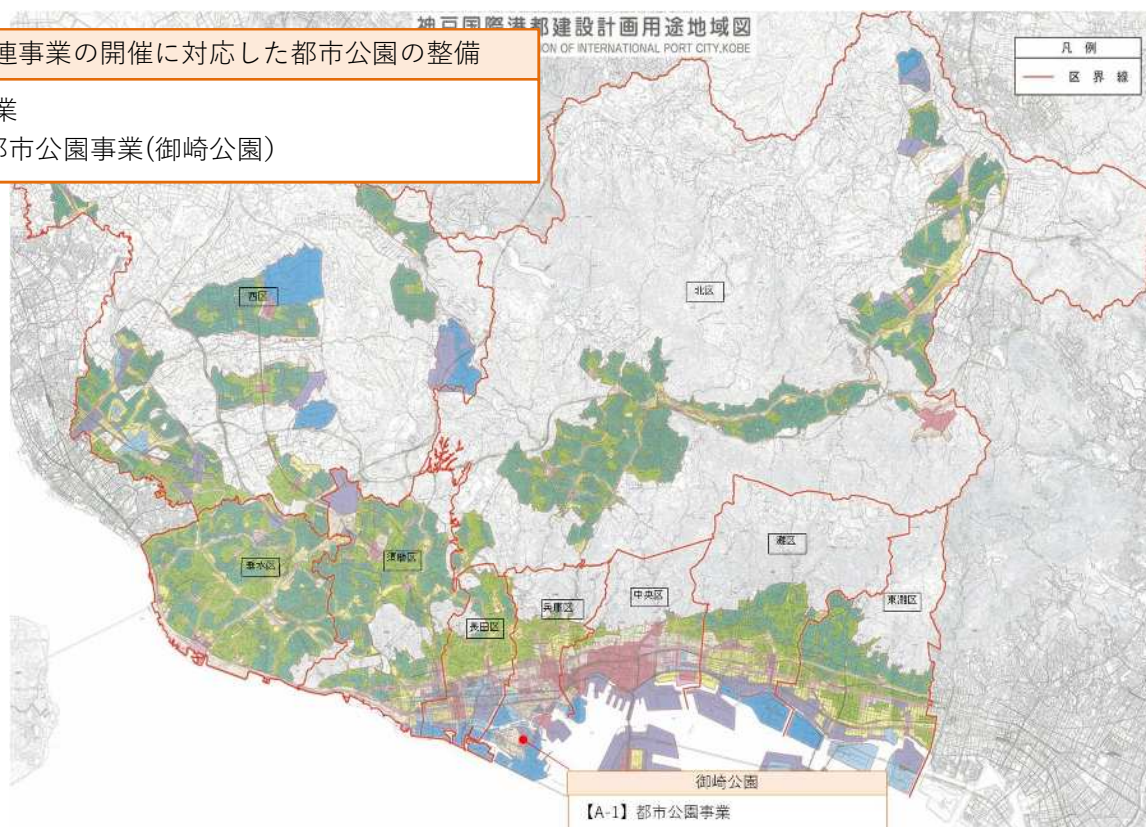
7

2. 交付対象事業

国家的関連事業の開催に対応した都市公園の整備

A 基幹事業

A-1 都市公園事業(御崎公園)



8

3. 各事業の概要

国家的関連事業の開催に対応した都市公園の整備

【A-1】 都市公園事業(御崎公園)

事業者：神戸市

内容：照明設備等の更新・地温コントロールシステム・ハイブリッド芝整備等

事業実施期間：平成29年度～平成31年度

全体事業費：1,433百万円

9

3. 各事業の概要

国家的関連事業の開催に対応した都市公園の整備

都市公園事業とは

○事業概要

都市公園事業は、都市公園法第2条第1項第1号に規定する都市公園、農山漁村地域の生活環境の向上に資する特定地区公園（カントリーパーク）の整備等の整備を行うことにより、安全で快適な緑豊かな都市環境の形成を推進し、豊かな国民生活の実現等を図ることを目的とする。

○事業の要件

- ①公園及び緑地の面積が都市計画区域内住民1人当たり10㎡未満等
- ②防災公園
- ③国家的事業関連公園や大規模公園等の公園整備であること
- ④「低炭素まちづくり計画」に位置づけられ、一人当たり公園面積が5㎡未満の地域
- ⑤地域づくり拠点公園として「観光圏整備実施計画」等に位置づけのある公園整備

10

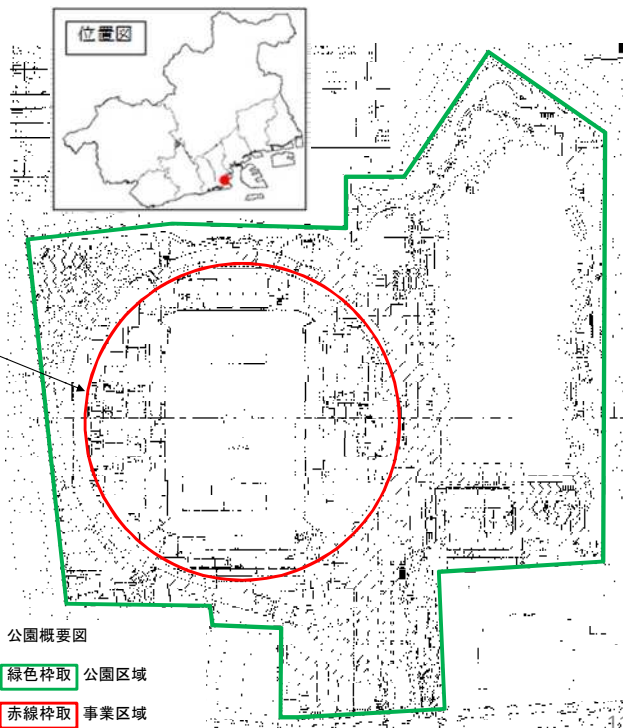
3. 各事業の概要

国家的関連事業の開催に対応した都市公園の整備

- 公園：御崎公園
- 整備箇所：神戸市兵庫区
- 工期：H29～H31
- 整備内容：照明設備等の更新、地温コントロールシステム、ハイブリッド芝の整備等
- 対象面積：約0.75ha（スタジアム内芝生）
- 整備状況：ラグビーワールドカップ2019の開催会場としてふさわしい施設へ改修した。



事業内容：
照明設備等の更新、地温コントロールシステム・ハイブリッド芝の整備等



4. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

国家的関連事業の開催に対応した都市公園の整備

1 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

- ・これまで、スタジアムの構造による日照不足や通風不足のため、芝生の生育状態が悪く、病気や試合後の傷みが頻繁に発生し良好なピッチ状態を長期間保つことができていなかった。また、施設全体も老朽化し、照明施設等について国際基準を満たしていないとRWC2019組織委員会から指摘を受けていた。
- ・今回の整備により新技術であるハイブリッド芝や地温コントロールシステムを導入することで、プレー環境が向上し、短期間での複数試合が可能となるとともに、迫力ある試合ができるようになった。また照明施設や音響施設等を更新することで国際基準を満たした施設環境へと改善できた。これによりRWCを無事開催することができ、多くの観客を動員できたことに加えて、以後も良好なピッチ状態を保ち続けることができ、スタジアムの稼働日数が増加した。



4. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

国家的関連事業の開催に対応した都市公園の整備

II 定量的指標の達成状況

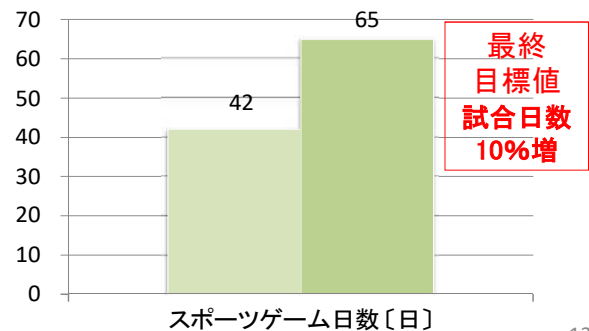
・再整備後（H31）にノエビアスタジアムにおいて開催したRWCの観客動員数は

9月26日	イングランド	vs	アメリカ	...	27,194人
9月30日	スコットランド	vs	サモア	...	27,586人
10月3日	アイルランド	vs	ロシア	...	26,856人
10月8日	南アフリカ	vs	カナダ	...	28,014人

➡ **27,400人/試合**
※端数切捨て

となっており、目標の「1試合当たり平均観客数20,000人」を大きく上回った。

・また、スポーツゲーム日数は、H29年比で54%増（23日増）と大幅な利用促進がみられた。



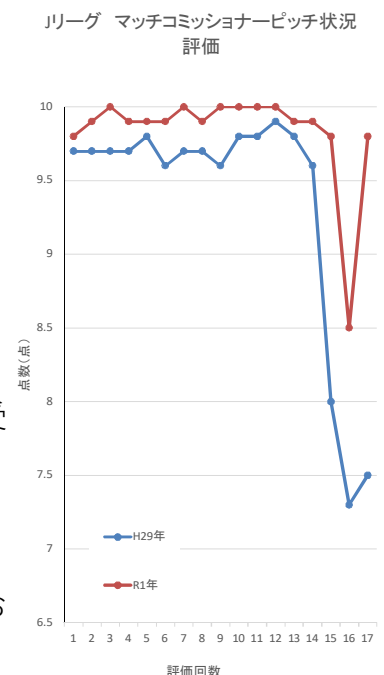
13

4. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

国家的関連事業の開催に対応した都市公園の整備

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況

- ・再整備の結果、プレーした選手から
 - ✓ やりやすかった。芝がめくれることもなかったし、しっかり根付いていた
 - ✓ 芝の状態もよく、スタジアムの増改築も嬉しい。良い意味で期待を裏切るほど良かった。などの評価を受けた。
- ・Jリーグによる芝生ピッチ評価の年間平均は、H29年は9.34点（10点満点中）であったが、R1年には平均9.83点と高評価を受けた。
- ・また、Jリーグスタジアムの評価順位もH29年の48位からR1年は17位と大幅に順位を上げた。
- ・観戦環境等の向上により、RWC以後もノエビアスタジアムにおけるラグビー及びJリーグの観客者数が大きく増加した。



14

5. 特記事項（今後の方針等）

国家的関連事業の開催に対応した都市公園の整備

- ・ 今回の御崎公園の整備によって、ラグビーワールドカップ2019やJリーグ等の良質なプレー環境が提供できた。
- ・ 今後もレガシーとして適切な維持管理を行うことで、スポーツゲームだけでなく各種のイベントなど様々な場面での活用も視野に、より多くの人に親しまれるスタジアムを目指す。

